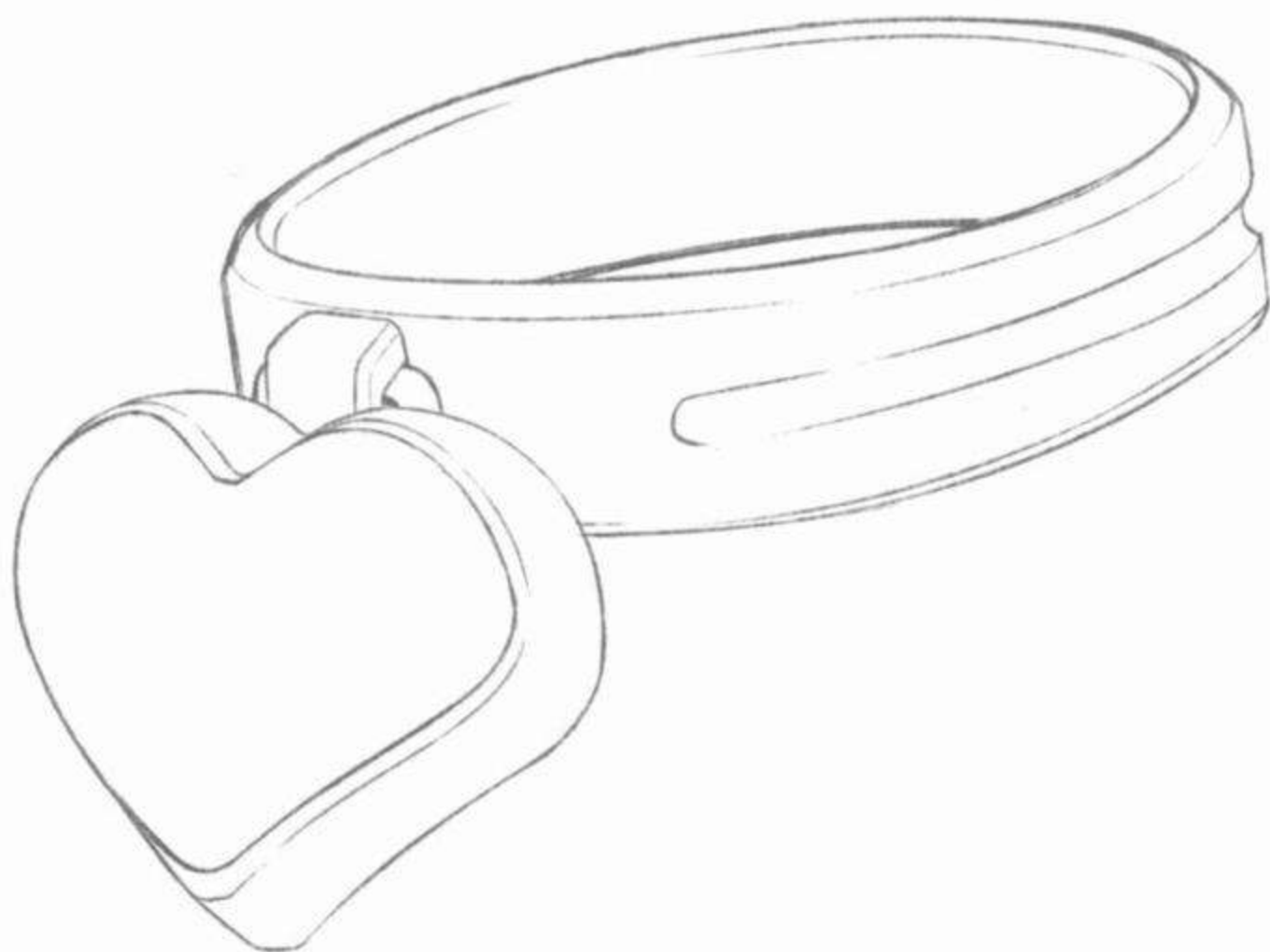


s.k.b.b.n. **AXZ**
Maiden defeat.

ADULT ONLY
R-18
成人向け

■A化ギア・コンバーター

パヴァリア光明結社内におけるサンジェルマン派に属さない非主流派によって錬成された魔性の産物。チャームに収まる石のように見える物体はイレモノに過ぎず、中に封入された「A流体」こそがその本体である。秘蔵されていたある完全聖遺物から抽出されたこの物質は、他の聖遺物から発せられる力、波動をある別のカタチへと変質させ、更には対象の聖遺物を扱う人間の肉体と精神を汚染する特性を持つ。これ単体では何の用も為さないが、「A流体」の中に聖遺物の欠片を取り込ませることで「A化」を促す波動を放つようになりコンバーターとして完成する。
(形態としてはダインスレイフを組み込んだシンフォギアと相似であり、お互いに錬金技術の産物である)



■A化

肉体と精神を汚染するその効果については「A化」と呼ばれる。具体的には極度の性感強化とそれを受け止める為の肉体強化、そして肉体の活動の為の全ての滋養を精液から抽出される生体エネルギー、精気によって得る体質へと変化し、更に性行為とそれを行うパートナーを至上のものとする価値観へと精神構造が変質させられる。この変化の度合いは媒介となった聖遺物が持つ力の量に比例し、仮にシンフォギアに組み込まれる程の聖遺物であれば、人間からかけ離れた存在になりかねない程の不可逆の変化をもたらす。

「A流体」と聖遺物を媒介としたチカラはその発露としてシンフォギア同様ギアを形成することも可能であるが、形成されたギアはもはやフォニックゲインとは別のもので駆動する故に「A化ギア」と呼称される。A化ギアは歌わずとも解除されず、更には装者自身が解除することも不可能である。

余談だが「A流体」はかつて大天使と番になった四人の神聖娼婦たちの精髓がカタチを成したものとされる。そして彼女たちは神聖娼婦であると同時に彼女たち自身も天使としての側面を持つとされ、それ故にかシンフォギアシステムとは意外なほどに高過ぎる親和性を示す。

A化検体1号

立花 響

最初に捕獲。改造を施されたシンラオギア装者。
融合症例として一度変異を経験した故にか順応性が非常に高く、
改造を施したギアの影響を急速に受けA化を果たす。

一方でいかなる作用によるものか聖遺物の力を戦闘力に置換することができないという
致命的な欠陥を抱えており、戦力としては現状期待できる存在ではない。
現在極東地区本部に再調整と維持を兼ねて結社構成員の共有性処理用員として係留中。

以前は性に対して自己を抑圧していた側面があったらしく、現在は反動故にか奔放に振る舞う。



A化検体1号に 関する記録映像

A化装者はその性能を維持する為に成人男性の精液を通じて精気を摂取する必要がある。現在の検体1号は一日あたり13人からの精液を必要とし、最低摂取量を守らせるべく普段は厳しく管理がなされるが、立花響本人が性行為に対し非常に積極的な姿勢を取る為、その必要が無いのが現状である。



A化検体1号に
関する記録映像#2




A化検体2号

月読調

A化立花響を用いて捕獲に成功、改造を施されたシンフォギア装者。
検体1号に匹敵する順応性の高さにより、改造を施されたギアに適合、A化を果たす。
※のちの調査によりかつてR要員としてフィーネに確保されていたことが判明。

検体1号とは異なり、性能面では期待される戦闘力を十二分に発揮できる状態にあるものの、
心理的抵抗が激しく今現在のコンディションでは実践投入には不適格と判断。
近目中に極東地区本部にて徹底した調整が施される予定。

A化されているものの性経験に乏しく抑圧も激しい。要調整。



A化装者はその仕様上性行為に対する高い親和性が求められるが、
検体2号はその不足に加え反抗的な姿勢を崩す様子が無いため
こうして「調整」に掛けられることとなった。
ライブラリ化された性行為の感覚情報を電気信号として直接脳内に
読み込ませることにより、即席で性行為に対する親和性及び
「成功相手の男性には決して逆らうことはできない」という
強度の条件付けがなされ、真にA化装者としての完成に近づくとことなる。

A化検体3号

雪音 クリス

先日A化月読調を用い捕獲に成功、改造が施されたばかりのシンクアギア装者。検体1号2号と比べ適応率が低く、比較的強引にA化がなされた。

検体2号以上の激しい反発心故にこのままではA化装者としての運用は困難と判断。認識を誤認させるタイプの強度の洗脳を施し、人格を破壊させないまま実践投入が可能な状態にまで調整を施すことに成功した。

長期にわたり性経験を積みまされていた形跡があり、A化に際しても支障なく性行為による精気供給を行うことが可能。

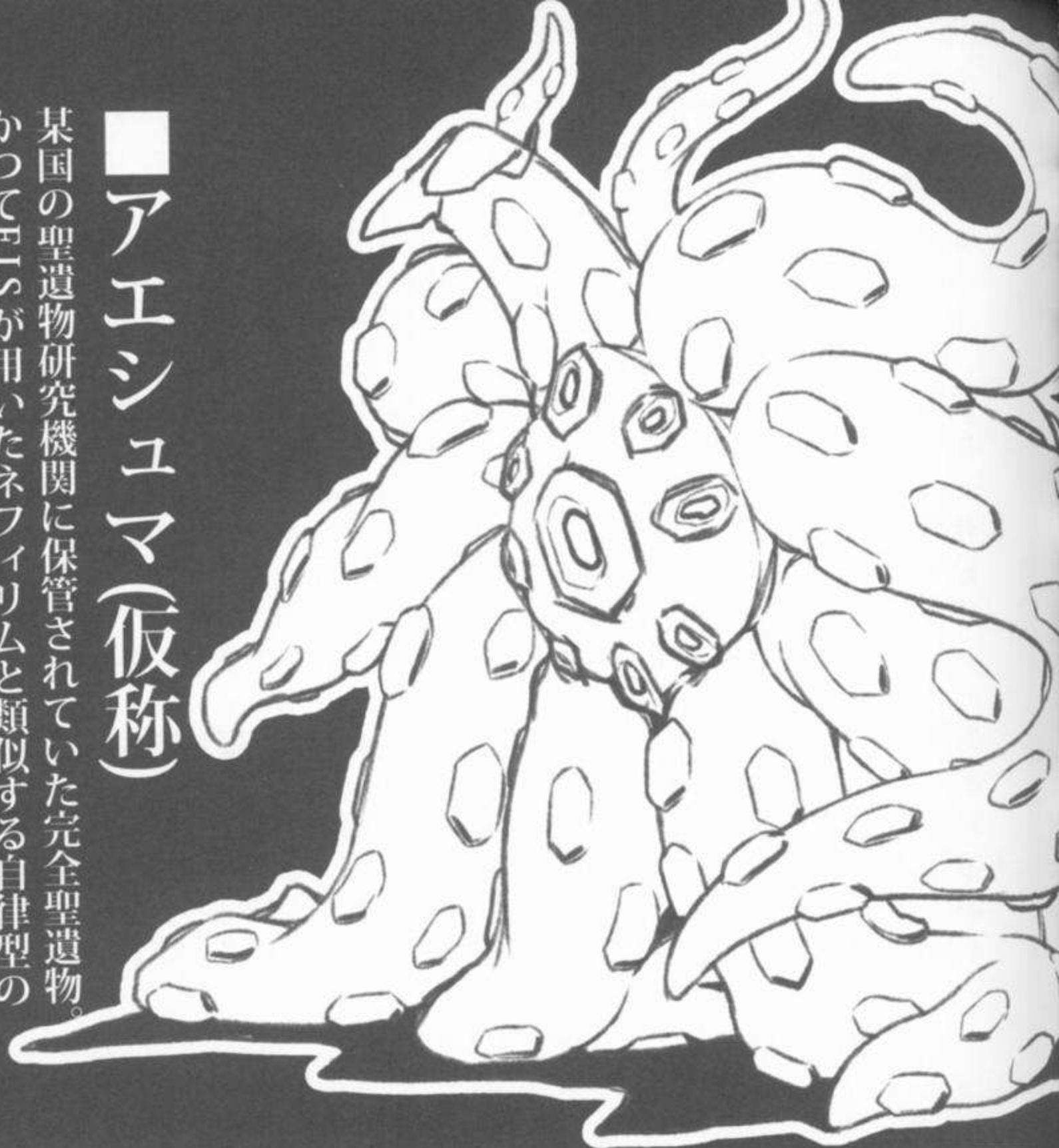


A化検体3号に 関する記録映像

検体2号に施されたものとは別のかたちで「調整」が施されることもあり、
検体3号のケースがこれに該当する。
今回の場合はA計画に携わる男性スタッフに対して検体3号雪音クリスは
彼らは「自分の恋人」であるという認識を強制的に持たされ、
スタッフら自身並びに彼らとの性行為に対する忌避感を取り除かれる。
雪音クリス本人は自身の認識を改竄されたという自覚すら抱けず、
かすかな違和感のみを抱きながら以後献身的に身体を差し出すこととなる。







■アエシユマ(仮称)

某国の聖遺物研究機関に保管されていた完全聖遺物。かつてF.I.S.が用いたネフィルムと類似する自律型の聖遺物と推測されるも、その危険性から嚴重に封印される。ヒト科のメスが発するフォニックゲインに似た特有の性質を持つ波動を貪欲に求める傾向と、それを効率的に摂取することに特化した器官、機能を備えることが確認されている。一方で活動に必要なエネルギーを一般的な対象からのみ賄うと仮定した場合非効率な方法と対象を取ることから、手段が目的となるような何らかの意図に基づいて設計された存在である可能性が指摘されている。現在行方不明。

「んはぁぁっまたなかだしてイクっ♡♡これ以上、あたしの中に出すなぁっ!♡うぁぁ沁みるうっ♡♡」
少女がもう何度目になるかもわからない腔内射精絶頂に声を荒げながら健気に陰唇で触手肉を締め付け、悶える。

単身で挑んだこの相手は少女を、女を組み伏せることに特化した存在ということをはさして間を置かず気付いたが、遅かった。揮発した体液を吸い込んだ途端腰が燃えるように熱くなればもはや武器を手に取って戦うことはかなわず、腰が砕けて屈み込んだ瞬間股座に取り付かれ、その時点で少女は敗北した。どういう理屈によるものかギアは解除されも解除することもできず、自分が嬌声を上げるたび脚の付け根に居座った怪物は力を増していくようで、時が過ぎる程に状況は悪くなる。四度、五度と腔奥にぬめる射精液を打ち付けられながらも、少女はこの捕食者から逃れようともがき、そして徒労に終わりまた絶頂する。それを何度も繰り返した。

結局雪音クリスはその後解放されることはなかった。触手塊の分泌する粘液によってときに滋養を与えられ、ときに催眠成分によって強制的に休息を取らされ、回復してはまた開発され切った腔壁をこそがれ絶頂し、貪られる。その繰り返し。この蜜月の日々が一体いつまで続いたのか、知る由もない。



幼体。この時点では40cm程度のサイズだが既に主要な捕食機能を備える。

■あとかぎ

もうこれ以上のギリギリ感は無いただろう、と前回思っていたところ、今回はそれを上回るギリギリ感でもうほとんど途方に暮れている×切まであと8時間の賀です。本当にいつも以上にギリギリな内容でまずは本当すみません；

諸般の事情で予定していた新刊を今回見送らなければならない事態に陥った為、なんとかえっちらえっちな本をしたためてはみました。この表紙絵も本来は別の本に使われるはずでした；一回シンフォギアでこういうのやってみたい、という願望みたいなのをまんま描いてみた感じです。普段ほんのりでも気にしている本編とのすり合わせとかそういうのを全部すっ飛ばしてます。結果趣味性だけが滲み出る感じになりましたが、故に好きでもあるので次は余裕を持って多めの分量でまたこういう感じのノリのをやってみたいです。
※特にテキストは描いてる余裕も推敲してる余裕も無くて非常に非常にむねんだ…

2018年は出たいイベントにとにかく全部出たい&あわよくばオフセ本もいっぱい作りたい、という目標を掲げて活動していましたが、結果的にすこし気持ちばかりが先走る年になってしまい反省しています。来年は自分でも良く出来た、と思える本をお届けできるよう今年得た教訓を生かして頑張りますので、2019年も足を運んでいただければ大変嬉しいです。来年もどうぞよろしくお願いします。(とりあえず直近は3月の絶ステに参加予定かもです。また闇の合同誌もやりますのでぜひぜひ。)

20181227 賀

奥付

サークル:ガミ・ライズ
執筆者:賀
連絡先:
メールアドレス:gummyrise@gmail.com
Twitter:@gummy1024
印刷所:金沢印刷
発行日:2018年12月31日



Gummy-Rise
2018 Winter